

平成 29 年度国公立薬理学関連教科担当教員会議

議事録

日時：平成 29 年 8 月 24 日（木）13 時 30 分～16 時 10 分

場所：京都大学薬学研究科 医薬系総合研究棟 1 階 藤多記念ホール

出席：国公立大学（17 大学中 16 大学参加）

私立大学（57 大学中 55 大学参加）

薬理学関連教科担当教員会議委員 85 名（代理出席者 4 名）

欠席：薬理学関連教科担当教員会議委員 35 名

議長：武田 弘志 委員長（国際医療福祉大学）

書記：辻 稔（国際医療福祉大学）

配布資料：会議次第

資料 1：教育講演資料

資料 2：出席者名簿

資料 3：新委員名簿

資料 4：平成 30 年度役員（案）および教員会議役員構成内規

資料 5：教員会議名称および会則変更（案）

資料 6：第 102 回薬剤師国家試験問題検討委員会「薬理」部会報告書

資料 7：卒業研究に関するアンケート集計結果

参考資料 1：平成 29 年度教科担当教員会議名簿（薬学教育協議会より）

I 役員会

教員会議の前に役員会が開催され、教員会議の会議次第および審議事項の確認作業が行われた。

II 本会議

1. 教育講演

中村明弘先生（昭和大学薬学部）をお招きし、「なぜ実務実習で薬理学の知識が定着しないのか？～薬剤師に求められる薬理学的観点～」のタイトルでご講演頂いた。

2. 委員長挨拶

武田弘志委員長より開会挨拶と、本会議の概要について説明がなされた。

3. 新委員紹介

配布資料 3 にもとづき、武田弘志委員長より本年度新たに就任した委員（7 名）の氏名と所属が紹介され、うち本会議出席の以下の 3 名の先生（敬称略）より挨拶があった。

喜多 紗斗美 先生（徳島文理大学）

奥山 聡 先生（松山大学）

桂林 秀太郎 先生（福岡大学）

4. 次年度役員の選出について

配布資料 4 にもとづき、武田弘志委員長より平成 30 年度の新役員案に関する説明がなされた。また、教員会議役員構成内規 1 における但し書き「当面の間は私立側が委員長を務める」を、「3 年に 1 度は国公立側が委員長を務める」に変更することが提案された。審議の結果、いずれも満場一致で承認された。平成 30 年度役員は以下の通り。

平成 30 年度役員（敬称略）（任期：平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

委員長	福永 浩司	（東北大学）
副委員長	栗原 順一	（帝京大学）
副委員長	黒瀬 等	（九州大学）
参与	比佐 博彰	（九州保健福祉大学）
参与	金子 周司	（京都大学）
参与	大熊 康修	（千葉科学大学）
事務局	三澤 日出巳	（慶應義塾大学）
事務局補佐	中原 努	（北里大学）

5. 本教員会議の名称および会則変更について

配布資料 5 にもとづき、武田弘志委員長より昨年度の役員会にて提案されていた会議の名称変更とそれに伴う会則修正案について説明がなされ、審議の結果、満場一致で承認された。また、本年度の役員会では、現状に即したさらなる会則（第 4、5、7、8、11 ならびに 12 条）の修正が提案されたことが報告され、これら修正案については、来年度の本会議にて審議する予定であることが説明された。

6. 第 101 回薬剤師国家試験問題検討委員会「薬理」部会における評価結果について

配布資料 6 にもとづき、第 101 回薬剤師国家試験問題検討委員会「薬理」部会委員長の加藤伸一教授（京都薬科大学）より、平成 29 年 5 月 13 日（土）に開催された検討委員会における評価結果の概要について説明がなされた。今後、検討や改善を要する事項は散見されるものの、薬剤師国家試験出題基準の薬理学の範囲から満遍なく出題されており、特定の分野への偏りは無かったことが報告された。

7. 卒業研究に関するアンケートの集計結果について

配布資料 7 にもとづき、武田弘志委員長より各大学より事前回答を頂いていた「卒業研究に関するアンケート」の集計結果の概要について説明がなされた。会議当日では集計結果に

対する意見は特に出なかったものの、アンケートの自由記載では 6 年生カリキュラムにおける卒業研究の進め方や評価方法など、多数の意見が寄せられた。詳細は配布資料 7 を参照のこと。

8. 日本薬学会薬理系薬学部の活動について

日本薬学会薬理系薬学部会長の南雅文教授（北海道大学）より、本部会の常任世話人および若手世話人、今後の生体機能と創薬シンポジウムおよび次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウムの予定、薬理系薬学部会奨励賞受賞者および生体機能と創薬シンポジウム優秀発表賞候補者について紹介があった。また、薬理系薬学部会奨励賞受賞者および生体機能と創薬シンポジウム優秀発表賞ともに応募数が少ないため、積極的な応募協力の依頼があった。

9. 次年度本会議の案内について

本会議にて福永浩司教授（東北大学）の来年度委員長への就任が承認されたことをうけ、福永教授より、来年度の教員会議は「生体機能と創薬シンポジウム 2018（実行委員長：岩崎克典教授（福岡大学）」との合同開催とし、会期は平成 30 年 8 月 23 日（木）、会場は福岡大学福大メディカルホールにて開催するとの案内がなされた。また、次年度のアンケートのテーマについては今後検討するが、要望があれば是非お寄せいただきたいとの依頼があった。

10. 閉会挨拶

予定していた議事を全て終了し、武田弘志委員長より閉会が告げられた。

補記：本会議終了後 18 時より、アートグレイス京都にて「生体機能と創薬シンポジウム 2017」との合同懇親会が開催された。教員会議側からは 58 名の参加があり、親睦を深めるとともに、活発な情報交換が行われた。

以上、議事録とする。

平成 29 年 9 月 7 日

平成 29 年度国公立薬理学関連教科担当教員会議
委員長 武田 弘志